

「今帰仁城下」Mのロケにも

に

か、地元食材を提供し、沖

「今帰仁城下」Mのロケにも



住者の優先雇用や地元食材の活用などを契約の条件としており、村の経済活性化への効果も期待される。

1億700万円で取得した。その後管理運営をする業者を募集し、応募があった3社の中から選定委員会

尽力したい」と話した。

住宅金利引き下げ

沖繩公庫、あすから

住宅資金の融資金利を10日から0・08%引き下げる。

マイホーム新築、建売住宅、マンションで2・60%となる。

「大学院

委員長 委員 高度数 高度数



高度情報通信大学院 第2回講演会

県が進める高度情報通信人材育成構想調査事業の「ちゅらプロジェクト第2回講演会」が8日、那覇市の沖繩ハーバービューホテル

ルクラウンプラザで開かれた。高度情報通信人材育成調査委員会の嘉数侑昇委員長は株式会社で高度情報通信(IIT)専門職大学院を

生まれ、卒業生の質や、企業のニーズに合った研究テーマを考えるようになる」と強調。「日本の大学は企業現場にどのような問題があるか分からないし、プロジェクトの評価もしていない。大学自体が金勘定する考えを持たないといけな

中央ツーリスト

「同窓会ツアー」販売

中央ツーリスト(那覇市、宮平良一社長)は、既存のツアー商品を活用して同窓会を開催する「同窓会ツアー」を販売、その幹事役を支援する「幹事代行サービス」を10日から始める。サー

幹事も代行

ビスでは、参加者への同窓会案内や名簿作成、ツアー手配など幹事の仕事を同社が代行する。同社は「仕事しながら幹事を務めるのはなかなか難しい。旅行社の支援で、同窓会と旅行商品を連動

させた新しい旅の形を提案した」としている。

同社の赤嶺仁美アウトレットチーフマネジャー

は「従来ある懇親会のみ同窓会ではなく、気軽に旅行感覚で同窓会を楽しむことができる」と話しており「特に50〜60代の方には利用してもらいたい」とPRしている。

本旅行金額に1人当たり500円を加算する仕組みになっている。「同窓会ツアー」の第1弾はJTA商事の旅行商品J・TAP(ジェイ・タップ)の「J・TAP癒しの久米島2日間」で、同サービスの適用を始める。問い合わせは中央ツーリスト本社☎098(854)5454。

も要望に込める

八幡昇社長

上で切り分く機械化を進めた」と説明する。

大量に入ってくるようになり、

枚ずつ成形 「不純物が少なく、足で踏むだけに良い土ができるくらい良カ月ほど乾質」(八幡社長)というクチャを産出する同町は、戦後の米軍

昔ながらの手作りで小さな瓦しか製作できない県内工場は苦境に立たされる。その結果、赤瓦業界は機械化が急速に進むこと

っている赤



与先創業し、82年氏が社長就。従業員は100円。デポアラのほ名園御殿重山高校校内で数多く

無税

2010年11月9日 琉球新報



17日の期間の

経済フ

辰家支援を

戦略的協定(TP
J A 沖縄中央
打撃を受けると
止を決議したほ
ど「断固反対」
経済団体は「影
すことが参加の
拠出が少ない経済
響が大きいと指摘

声も

型入糖に市場を奪わ
的な打撃を受ける
を募らせる。台風が
リストのかかる離
トウキビ以外の作
は困難で「県内の
崩壊する」と訴え

直人首相を議長と
造改革推進本部を
半年6月をめどに基

経済界も県内農業への影響
を懸念する。県経済団体会議
の知念榮治議長は「砂糖の保
護がなくなれば県内農業が厳
しくなる。現状でのTPP参
加は厳しい」と指摘し、参加
の前提として農家への支援策
を求めた。

一方、TPP参加による波
及効果を期待する声も。輸入
超過となっている県内の経済
構造ではモノが安く入って

る関税撤廃のメリットが大き
いと考える。専門家は「参
加は将来的には県経済、県民
生活にとってプラスになる」
とみる。完全にシャットアウ
トせずに、農業分野では関税

同窓会ツアー幹事代行

中央ツーリストが販売

中央ツーリスト(那覇市、
宮平良一社長)は10日から、
同窓会の幹事を代行する旅行
商品「同窓会ツアー」を販売
する。同窓会会員への案内や
参加の確認、懇親会やツアー
の手配代行を一括して行う。
同社は「面倒な同窓会の幹事

役を代行し、新たな旅行市場
を開拓していきたい」と話し
ている。県内旅行業界では初
めてのサービスという。

ツアーは気軽に行きやすい
久米島1泊2日を1万450
0〜2万5800円(4人1
室利用)で用意。朝食・夕食、

の段階的な低減や規制緩和な
ど包括的な対策が必要との見
方を示した。

2時間飲み放題、グラウンド
ゴルフなどが含まれるほか、
オプショナルでカラオケも楽
しめる。幹事代行手数料1人
500円で同窓会の名簿作
成、案内はがきの送付など
を引き受ける。新聞やトラ
ベル情報の紙面で同窓会の告
知も行う。要望に応じて九州
の温泉旅行なども手配可能
だ。

問い合わせは同社、電話0
98(833)5454。

「赤土大根」販売で協定

【大宜味】大宜味村(島袋義
久村長)と琉球ジャスコ(栗本
建三社長)、村赤土大根生産組
合(具志堅朝秀組合長)の3者
が8日、村特産品の赤土(青首)
大根の販路拡大やブランド化を
目指し「農産物生産販売奨励協
定」を締結した。琉球ジャスコ
と県内自治体が同様の協定を締
結するのは2例目。

赤土大根の出荷は12月下旬か
ら5月末ごろまでで、約150
トの販売を目指す。

同日、村役場で調印式があ
り、島袋村長は「大宜味ブラン
ドを目標に掲げ、今回の戦略を
皮切りに農業全体を活性化さ
せ、沖縄一の赤土大根産地を目
指していきたい」と抱負を述べ



コンテンツ 成功例紹介

支援事業説明会

2010年11月9日 沖縄タイムス



者約80人が参加した写真。
人気を集めるネットアニメ
「やわらか戦車」をプロデュ
ースするファンワークスの高
山晃氏は「ローカル」が大
きなキーワード。地域でこれ
まで見過ごしてきたものは、
ユース化、コンテンツ化しや